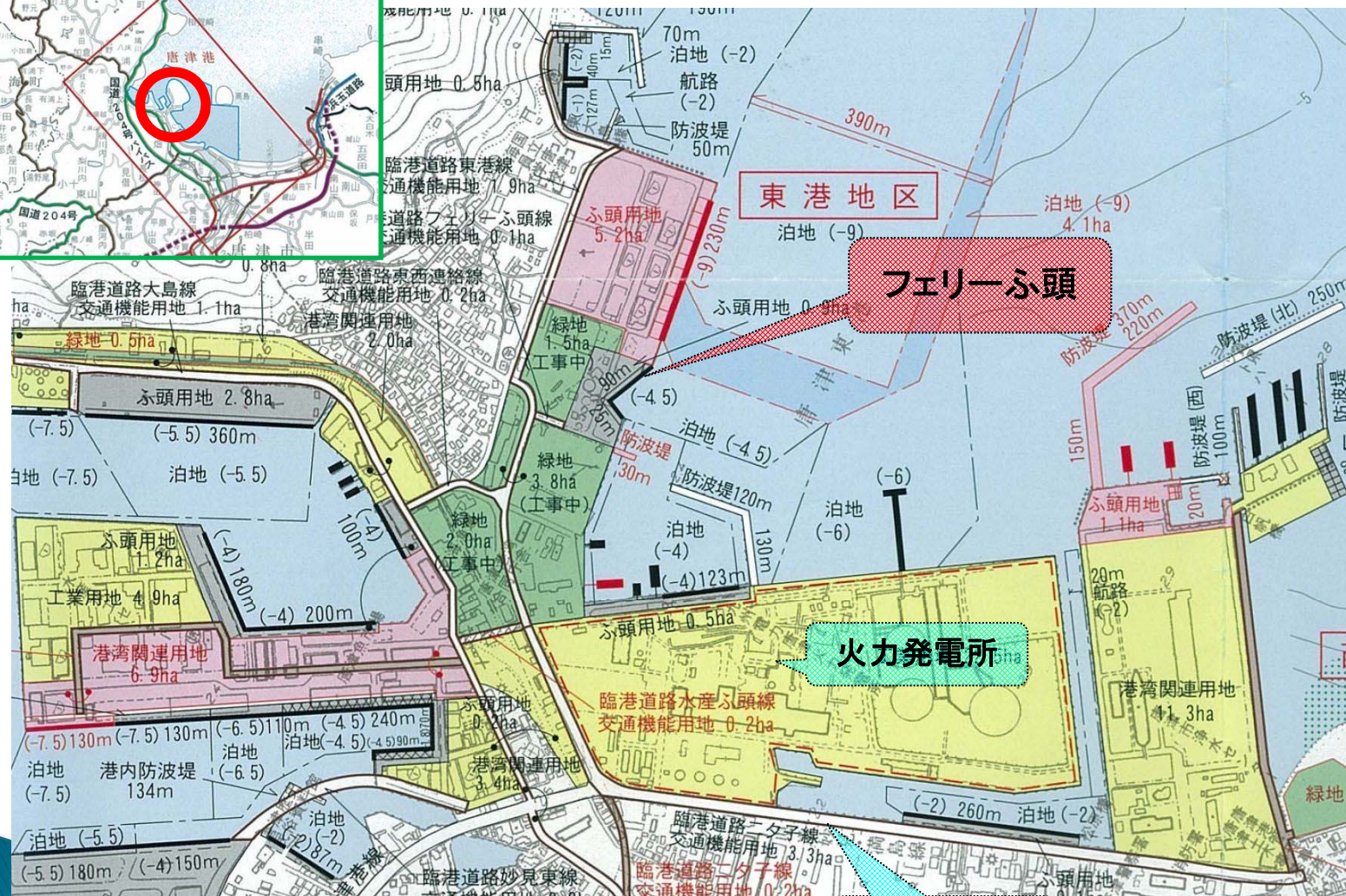


公共事業に係る効果等について

港湾施設改良費統合補助事業
唐津港東港地区

(港湾課)

○事業位置



凡 例	
	航路・泊地 (今回計画)
	航路・泊地 (既 設)
	防 波 堤 (今回計画)
	防 波 堤 (既 設)
	公 共 岸 壁 (今回計画)
	公 共 岸 壁 (既 設)
	物 資 補 給 岸 壁 (既 設)
	公 共 耐 震 強 化 岸 壁 (今回計画)
	公 共 物 揚 場 (既 設)
	専 用 岸 壁 (既 設)
	ド ル フ ィ ン (既 設)
	小 型 さ ん 橋 (今回計画)
	小 型 さ ん 橋 (既 設)
	海 浜 (今回計画)
	海 浜 (既 設)
	ふ 頭 用 地 (今回計画)
	ふ 頭 用 地 (既 設)
	緑 地 (今回計画)
	緑 地 (既 設)
	そ の 他 緑 地 (既 設)
	(今回計画)
	交 通 機 能 用 地 (臨 港 道 路) (既定計画)
	交 通 機 能 用 地 (既 設)
	そ の 他 道 路 (既 設)
	そ の 他 の 用 地 (今回計画)
	そ の 他 の 用 地 (既 設)
	施 設 撤 去 (今回計画)
	自 然 的 環 境 整 備 ・ 保 全 ゾ ン ン
	利 用 形 態 の 見 直 し の 検 討 が 必 要 な 区 域

臨港道路

○事業概要

- 事業名 港湾施設改良費統合補助事業
- 箇所名 唐津港東港地区
- 所在地 唐津市東大島町
- 工期 平成14年度～平成18年度
- 総事業費 約25億円
- 事業内容 フェリーふ頭整備
 - 岸壁(−4.5m)115m、泊地(−4.5m)2,000m²
 - 可動橋 18.5m
 - 歩廊橋(ホーディングブリッジ)17.5～21.5m

(唐津市) ターミナルビル 鉄筋コンクリート 3階建

○背景と目的

呼子港では、

- フェリー発着所までのアクセス(旅客・貨物)に時間がかかる

よって

- 利用者の大半においてアクセスしやすい港へ発着所を移転し、アクセスの向上を図る

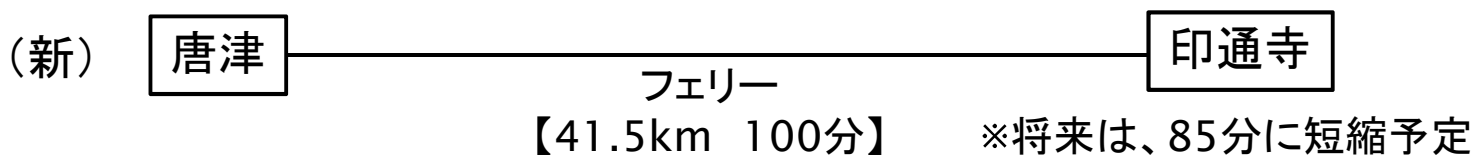
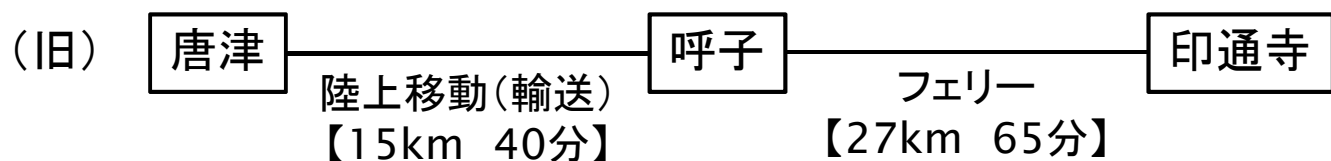
そのため

唐津港東港への移転

- 利用者の大半にとってアクセスしやすい

○事業の効果(1) フェリーへのアクセス向上

- 旅客移動時間が減少(5分短縮、年間約5,700万円の効果)
- 貨物輸送費用が減少(年間約1億1,000万円の効果)



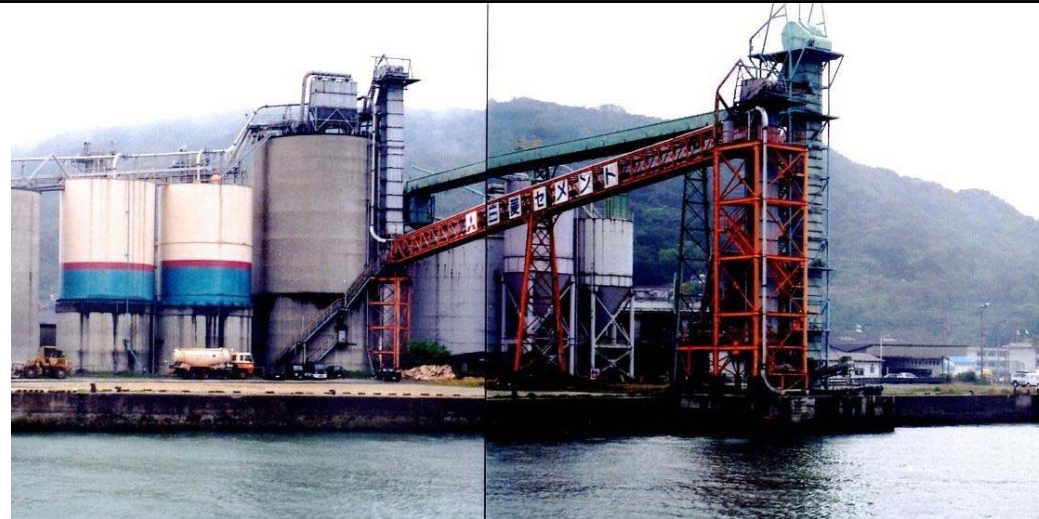
○事業の効果(2) 呼子地区臨港道路

- 呼子港フェリー利用車両台数 約120台/日が無くなり、呼子地区臨港道路の混雑が緩和



○事業の効果(3) 唐津港 東港地区

➤ 唐津の海の玄関口として、景観的にもふさわしい姿に変貌



○事業の効果(4) 唐津港 東港地区

➤ フェリー利用者の利便性向上



岸壁の延長増により、船舶が大型化

バリアフリーにも対応

エレベーター、バリアフリー席、
車いすスペース等を完備



ボーディングブリッジの新設により、
乗降者の利便性が向上



大型バスへの乗り換えが楽になり、
フェリー利用者の利便性が向上

○呼子港 旧フェリーふ頭の新たな姿

➤ 他事業による跡地利活用にて、地域の活性化に役立っており、観光客も回復傾向にある。

旧フェリー
ふ頭



○県民の意見

【メリット】

○フェリー発着所までのアクセスがスムーズとなった。

○自家用車等駐車場が確保され、利用しやすくなった。

【デメリット】

○呼子地区への人流が減少した。

なお、跡地利用により、観光客数は回復傾向にある。